

「音楽Ⅱ」シラバス

教科	科目	学年	組	単位数	教科書（出版社）
芸術	音楽	2	音楽選択者 (合同2クラス)	2	MOUSA② (教育芸術社)

【音楽Ⅱの目標】

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

【実施計画と学習内容】

学期 ／ 月	領域・分野	題材名	教材名	指導目標	主な学習活動
一 学 期 ／ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	表現(歌唱)	歌に込められたメッセージを大切にしよう	・校歌 ・ハナミズキ ・浜辺の歌	・歌詞の意味を理解し、曲想に合った声の音色や強弱、旋律の特徴などを生かして歌う。 ・声の響きを意識して歌う。	・曲想を、歌詞の言葉の意味、歌詞が表す情景や心情とかかわらせて感じ取る。 ・姿勢や身体の使い方、呼吸法等を音楽表現に結び付けながら歌う。
	表現(器楽・創作)	・コード伴奏に挑戦	・糸	・キーボードに関する基礎的な知識・技能を活かしてコード伴奏ができるようにする	・コードの仕組みを理解する。 ・キーボードの基本的な奏法を活用して、コード伴奏ができるようにする。
	表現(歌唱)	ハーモニーを楽しもう	・上を向いて歩こう	・自分のパート以外の旋律を意識しながら表現する技能を身につける	・各パートそれぞれの旋律を歌う ・全体の響きを意識して歌う。
	鑑賞 ／ 2時間	諸民族のアンサンブル	・世界の諸民族の音楽	・世界の諸民族の音楽が、歴史や自然、風土に根ざしていることや、他の分野とかかわっていることを理解し、楽曲全体を味わうことができる	・それぞれの音楽の背景を知る ・音楽における発声法や歌唱法、楽器の構造や奏法、音色などといった音楽の特徴を感じ取る
二 学 期 9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	表現(歌唱)・鑑賞	ヴォイス・アンサンブルを楽しもう	・Sherry	グループで自発的・意欲的に練習に取り組む ・強弱やパートのバランス、曲想や旋律に応じた表現を工夫する	・グループに分かれ、それぞれの声質に合ったパートを決める ・お互いの音程に気をつけて練習する ・グループ発表を行う。
	鑑賞	西洋の音楽劇の世界	・夢やぶれて ・今の歌声は	・音楽的な要素と音楽外的な要素、総合的な芸術表現におけるそれらのかかわり合いを感じ取る ・表現の特徴と文化的・歴史的背景を理解する	・オペラの歴史と日本及び世界のオペラ事情を学ぶ ・ミュージカルの歴史を学ぶ ・オペラ、ミュージカルのなかでの音楽の効果を感じ取る

	表現(器楽)	郷土の音楽 に親しもう	・涙そうそう ・ていんさぐぬ花		・三線の音色や奏法の特徴を活かして演奏する。
	表現(創作)	琉球音階で メロディーを つくろう	・自作教材	・三線の基礎的な知識・技能を用いて メロディーづくりを行う。	・工工四の読み方、書き方を理解する ・三線でメロディーをつくり演奏する。 ・グループ発表を行う。
三 学 期 ／ 1 ・ 2 ・ 3	表現(歌唱・ 器楽・創作)	ギターの演 奏を楽しもう	・愛のロマンス 他	・ギターの基本的な奏法を活用して、 曲に音色や表現を意識して演奏す る。 ・コードの押さえ方を理解する。	・アボヤンド奏法でメロディーを演奏する。 ・コードダイヤグラムの読み方を理解し、ストローク奏法を身 につける。
	表現(歌唱)	思いを込め て歌おう	・旅立ちの日に	各声部のかかわり合いや全体的な調 和、曲想を感じ取り、合唱表現の特徴 を生かして歌う	・各声部の役割や全体的な調和を感じ取り、音楽の構造を 理解して声の音色やフレーズ等を工夫する ・歌詞の内容や楽曲の背景を理解し、曲想を感じ取り、イメ ージをもって楽曲にふさわしい速度、強弱などを考える

★題材や教材、学習内容は、生徒の実態や状況に応じて、柔軟に変更する。

【学習形態】

基本的に一斉授業ですが、学習内容によってグループやペアでの学習を行います。

実技テストについても、課題に応じて個別テスト、グループ発表とテスト方法が変わります。

【評価方法】

①授業への関心・意欲・態度、②ワークシート等の課題提出状況、③グループ活動への取り組み、④実技テストの結果を総合的に判断して評価します。